

令和6年度
学校評価に関する資料
(12月調査)



心ゆたかに

令和7年2月
潮来市立日の出中学校

〔 目 次 〕

1	令和6年度 「学校評価アンケート」 集計結果	
	【確かな学力の定着】	…………… 1
	【心の教育の推進】	…………… 2
	【健康・安全教育の推進】	…………… 3
	【情報モラル・学校の情報発信】	…………… 4
2	令和6年度 第2回学校評価アンケート【生徒】	
	アンケート結果グラフ	…………… 5
	自由記述に対する回答	…………… 7
3	令和6年度 第2回学校評価アンケート【保護者】	
	アンケート結果グラフ	…………… 8
	自由記述に対する回答	…………… 10
3	令和6年度 第3回学校評価アンケート【職員】	
	アンケート結果グラフ	…………… 11
	自由記述に対する回答	…………… 13

【確かな学力の定着】

No	回答者	質問内容	肯定的回答の割合			平均点		
			7月	12月	割合	7月	12月	平均点
2	生徒	学校生活をとおして、自分で考え、判断し、行動する力が身に付いてきている。	97%	95%	95%	3.4	3.4	3.4
	保護者	お子さんは、学校生活をとおして、自分で考え、判断し、行動する力が身に付いてきている。	83%	90%	90%	3.1	3.2	3.2
	職員	生徒が主体的に取り組み、自分で考え、判断し、行動できる活動や場の工夫を行っている。	81%	87%	87%	3.0	3.3	3.3
3	生徒	ICT(学校のiPad)を活用し、自分に合った学習をする習慣が身に付いてきている。	97%	94%	94%	3.5	3.4	3.4
	保護者	お子さんは、ICTを活用し、自分に合った学習をする習慣が身に付いてきている。	61%	60%	60%	2.7	2.8	2.8
	職員	生徒がICTを活用し、自分に合った学習をする習慣が身に付くような学習活動の工夫や指導をしている。	100%	93%	93%	3.3	3.3	3.3
4	生徒	学習の時、相手に伝わるように自分の考えをまとめ、発言や発表(ノートやプリントへの書き込み)を行っている。	90%	89%	89%	3.3	3.3	3.3
	保護者	お子さんは、自分の考えが相手に伝わるように表現することを意識して学習している。	57%	65%	65%	2.6	2.7	2.7
	職員	「探究的な学び」の充実のために、教師の説明や指示を減らし、生徒が自分の考えをアウトプット(話す、書く、やってみる等)することを重視した授業改善に努めている。	100%	100%	100%	3.2	3.4	3.4
5	生徒	各教科で、学習の振り返りをする習慣が身に付いてきている。	90%	89%	89%	3.3	3.2	3.2
	保護者	お子さんは、各教科で学習の振り返りをする習慣が身に付いてきている。	45%	51%	51%	2.5	2.6	2.6
	職員	「探究的な学び」の充実のために、自身の学びや変容を自覚し、さらなる課題を見付ける「学習の振り返り」を継続して行っている。	100%	100%	100%	3.4	3.7	3.7
6	生徒	自分でやること(課題)を決めた家庭学習(宿題以外)をいつも行っている。	68%	70%	70%	3.1	3.1	3.1
	保護者	お子さんは、自分でやること(課題)を決めた家庭学習(宿題以外)をいつも行っている。	45%	54%	54%	2.6	2.7	2.7
	職員	生徒の家庭学習について、学校での授業とのつながりを意識して指導し、自分自身で課題をもって主体的に取り組めるように支援している。	67%	67%	67%	2.9	2.9	2.9
7	生徒	平日、1日あたりの家庭学習時間は平均どれくらいですか。(1時間は60分)	1時間～1時間半程度	1時間～1時間半程度	1時間～1時間半程度	3.0分	3.0分	3.0分
	保護者	お子さんの、平日1日あたりの家庭学習時間は平均どれくらいですか。(1時間は60分)	3.0分～1時間程度	3.0分～1時間程度	3.0分～1時間程度	3.0分	3.0分	3.0分
	職員	生徒の家庭学習の状況を把握し、必要に応じて助言・指導をしている。	67%	67%	67%	2.8	2.9	2.9

<成果>

・本校の教育目標に沿って生徒の主体性を引き出し自己決定を促す指導を行ったことで、生徒が自分で考え行動することへの意識が高まってきている。
 ・自分の学習について振り返る活動の充実など授業改善の取り組みを進めたことで、生徒の学習習慣や学習の様子について、定着・成長を感じている保護者が増えている。

<課題と改善策>

・自身の学習習慣や学習の様子について、全体的に肯定的な回答をした生徒の割合が高いが、各種学力調査の結果に十分結び付いていない。
 ・宿題以外に、生徒が自分で課題を設定した家庭学習を行う割合が7割程度にとどまっている。
 →各教科の調査結果を分析し、日頃の授業における指導・支援や学習活動の改善・見直しを図る。
 →授業の振り返りやテストの結果等を生かし、自分の興味に沿った探究型の学習や苦手克服の学習など、具体例を挙げて家庭学習につなげる働きかけを行う。
 ・生徒のタブレット端末の学習利用が定着してきている一方、一部の生徒が授業中にタブレット端末で学習外のことをしていることも見受けられる。保護者は、生徒のタブレット端末の利用について、家庭での利用も含め、学習目的外の利用について不安をもっている。
 →端末の学習目的利用の徹底(目的外利用に対する指導)、授業中(タブレット利用中)の教室内巡視、教師用アプリによる生徒用端末の画面確認等の対応をする等、粘り強く指導する。また、ネット依存や長時間利用の弊害等についても引き続き具体例を挙げて指導していく。

令和6年度 「学校評価アンケート」 集計結果

【心の教育の推進】

No	回答者	質問内容	肯定的回答の割合		平均点	
			7月	12月	7月	12月
1	生徒	学校が楽しい。	96%	↓	3.5	3.3
	保護者	お子さんは、学校生活が楽しそうだ。	85%	→	3.5	3.4
	職員	協働的・体験的な活動を取り入れ、生徒の考えや自己決定を尊重して指導をしている。	100%	→	3.5	3.3
8	生徒	道徳の時間で自分の考えをもち、話し合うことができる。	95%	↔	3.5	3.4
	保護者	お子さんの道徳性(よりよき生きるための行動・判断のもととなる自分の考え)が育ってきていると感じる。	79%	↗	2.9	2.9
	職員	普段の道徳の授業で、「考え、議論する道徳」の推進を図る指導をしている。	80%	→	2.9	3.1
9	生徒	学級活動や生徒会(委員会)活動、部活動などで、自分のやるべきことや目標をはっきりさせて取り組んでいる。	95%	↗	3.6	3.4
	保護者	お子さんは、学級活動や生徒会(委員会)活動、部活動などで、自分のやるべきことや目標をはっきりさせて取り組んでいる。	81%	↗	3.1	3.1
	職員	特別活動や部活動などにおいて、集団の合意形成、個人の意思決定、生徒の自治的活動の充実を図る指導をしている。	93%	→	3.3	3.3
10	生徒	学校の中で様々な人々と関わりながら、それぞれの生活環境や考え方の違いなどを理解して、いじめや差別をしないようにしている。	98%	↗	3.7	3.7
	保護者	お子さんは、学校の中で様々な人々と関わりながら、それぞれの生活環境や考え方の違いなどを理解して、いじめや差別をしないようにしている。	95%	↗	3.4	3.4
	職員	特別支援教育の視点を生かし、人権が尊重される授業づくりを行っている。	100%	→	3.7	3.5
14	生徒	先生は、生徒のことを大切にし、一人一人を理解しようとしてくれている。	92%	↗	3.7	3.6
	保護者	教職員は、生徒のことを大切にし、一人一人を理解しようとしてくれている。	90%	↘	3.3	3.2
	職員	生徒に対する自身の言動に気を付けたり、環境に配慮(机の配置・掲示物等)したりすることで生徒の人権を尊重している。	100%	→	3.6	3.7
15	生徒	学校での様子、できごとなどについて、家庭で話をしている。	85%	↗	3.3	3.1
	保護者	家庭では、学校での様子、できごとなどについて子供の話聞くようにしている。	94%	↗	3.1	3.3
	職員	教育相談等の機会を通して、生徒の話を丁寧に聞くようにしている。	100%	→	3.7	3.7

<成果>

・生徒の人権を尊重した指導を行ったことで、生徒が人との関わりや認め合うことの大切さを感じ、肯定的に回答する割合が生徒・保護者とも9割以上と高くなっていく。

・普段の道徳の授業で、生徒が互いの考えを伝え合う活動を多く取り入れたことにより生徒の道徳性の伸長を保護者が感じている割合が高い。

<課題と改善策>

・「学校が楽しい(楽しそうだ)」と感じている生徒・保護者の割合が減少している。また、教職員の生徒理解について肯定的な回答をする保護者が減少している。

→「楽しい」と感じられない理由(「授業が分からない」、「人間関係がうまくいかない」、「目標が見つかからない」など)について分析し、手だてを考えていく。引き続き、生徒の様子を丁寧に観察して生徒の気持ちに寄り添った支援を行う。また、不安や悩みを抱え込まずに相談できるよう、校内の教育相談フォーラムの再周知や内容の見直しを図る。

・学校での様子について家庭で話をしていない生徒が一定数見られる。

→ホームページや学年・学級通信等の各種便りでの情報提供を行ったり、学年・学級懇談会等で話題にしたりするなど、学校の出来事について保護者が生徒と話す機会をできる限り作り出していく。

令和6年度 「学校評価アンケート」 集計結果

【健康・安全教育の推進】

No	回答者	質問内容	肯定的回答の割合		平均点	
			7月	12月	7月	12月
11	生徒	運動やスポーツに親しんでいる。	84%	85%	3.2	3.2
	保護者	お子さんは、運動やスポーツに親しんでいる。	73%	75%	3.2	3.2
	職員	体育・音楽・美術や部活動・学校行事等の指導を通して、技能の程度や性別等にかかわらず、スポーツや文化的活動の楽しみ方を共有するための指導を工夫している。	100%	100%	3.5	3.4
12	生徒	事件や事故を起こしたり巻き込まれたりしないように、自分で危険を予測して安全な行動をするように心がけている。	97%	97%	3.7	3.7
	保護者	お子さんは、事件や事故を起こしたり巻き込まれたりしないように、自分で危険を予測して安全な行動をするように心がけている。	88%	88%	3.4	3.4
	職員	学校生活の様々な場面で生徒が自ら危険を予測し、安全な行動を実践することによる安全に対する規範意識の育成を図っている。	93%	100%	3.3	3.5
13	生徒	病気やけがを予防するために、自分で健康・安全な生活ができるように心がけている。	96%	97%	3.6	3.5
	保護者	お子さんは、病気やけがを予防するために、自分で健康・安全な生活ができるように心がけている。	79%	73%	3.1	3.1
17	職員	自他の命を大切にし、心身の健康を維持するための生活習慣等について、学校生活の様々な場面で工夫して指導している。	100%	100%	3.7	3.7
	保護者	学校は、交通安全や不審者対策、荒天時の対応、熱中症予防や感染症対策等、安全・安心である。	97%	96%	3.3	3.4
	職員	交通安全や不審者対策、荒天時の対応、熱中症予防や感染症対策等生徒の安全を第一に考え行動することができている。	100%	100%	3.7	3.6

<成果>

・事故防止や病気・けがの予防等に関する具体例を挙げたの指導・危険予測の学習を行ったことで、生徒が健康で安全な生活・行動について意識を高めることができた。

・保護者連絡メールシステムを活用し、不審者や荒天等の情報提供、熱中症や感染症の予防・対策等の情報提供を適宜行ったことで、保護者の肯定的評価が95%を超えた。

<課題と改善策>

・運動やスポーツに親しむことが難しい生徒、規則正しい生活など健康・安全な生活が十分維持できない生徒、それらを感じている保護者の割合が一定数いるため、継続した指導や支援が必要である。

→保健体育の授業において専門的知識・技能を有する方をゲストティーチャーとして招くなど、運動が苦手な生徒も参加しやすい活動を工夫を始めていくので、その充実を図る。また、文化的活動も組み合わせて心身の健康について指導したりするなど、多様なアプローチを試みる。

→生活のリズムを整えることやけが・病気の予防、危険の予測について、生徒の状況を観察し、必要に応じて個別指導を行う。

令和6年度 「学校評価アンケート」 集計結果

【情報モラル・学校の情報発信】

No	回答者	質問内容	肯定的回答の割合		平均点	
			7月	12月	7月	12月
16	生徒	PC・スマホ・タブレット・オンラインゲーム機などの使い方について、家庭で話し合い、ルールづくりをしている。	84%	85%	3.3	3.4
	保護者	家庭では、PC・スマホ・タブレット・オンラインゲーム機などの使い方について、お子さんと話し合い、ルールづくりをしている。	88%	88%	3.1	3.2
	職員	情報モラルやセキュリティ、ネット依存・ゲーム依存等の問題について、学校生活の様々な場面で工夫して指導している。	100%	100%	3.6	3.5
18	保護者	学校は、行事や子供たちの様子について、ホームページや学校だより、学年・学級通信等で積極的に情報を発信している。	92%	91%	3.3	3.4
	職員	学校の取組や生徒たちの様子について、ホームページや保護者メール、学校だより、学年・学級通信等で積極的に情報を発信している。	100%	100%	3.4	3.4

<成果>

・学校の取組や生徒たちの様子について、学校ホームページ（授業日はほぼ毎日更新）や各種便り等で積極的な情報発信をしたことで、保護者から90%以上の肯定的評価を得た。なお、学校に関わる諸機関からのお知らせ、資料提供等について、紙媒体の配布があるものも含め、保護者メールアドレスシステムでこまめに情報提供することができた。

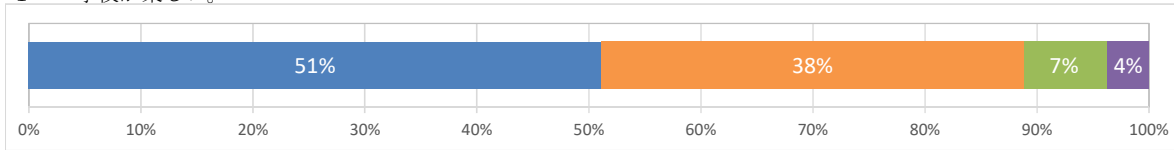
<課題と改善策>

・家庭での各種ネット通信機器の使い方については、家庭でのルール作りが進んでいる一方、ルールの確認ができていない家庭が一定数見られる。
→家庭でのルール作りについて、家庭への啓発を継続する。また、学校で行うネット利用安全教室についても、保護者が参加しやすいように実施時期等を工夫する。

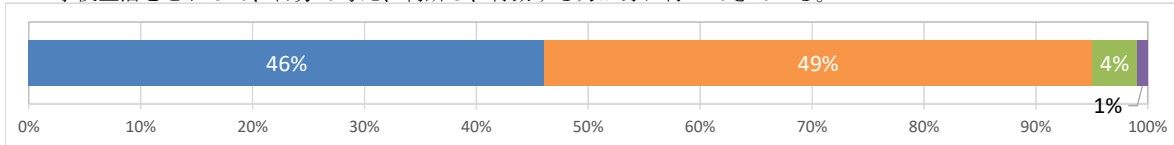
令和6年度 第2回学校評価アンケート【生徒】

■ 4 そう思う ■ 3 どちらかといえばそう思う ■ 2 どちらかといえばそう思わない ■ 1 そう思わない ※（設問7を除く）

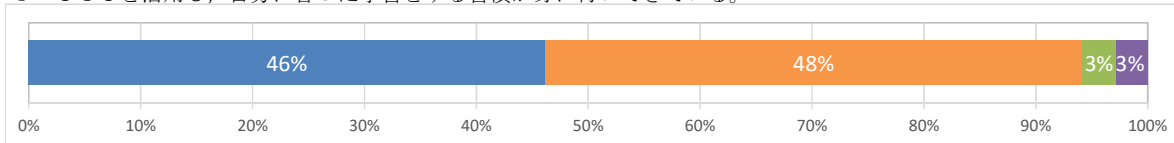
1 学校が楽しい。



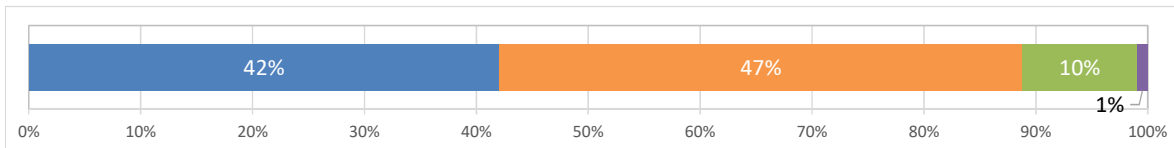
2 学校生活をとおして、自分で考え、判断し、行動する力が身に付いてきている。



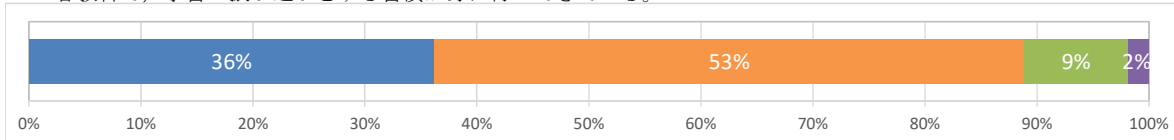
3 ICTを活用し、自分に合った学習をする習慣が身に付いてきている。



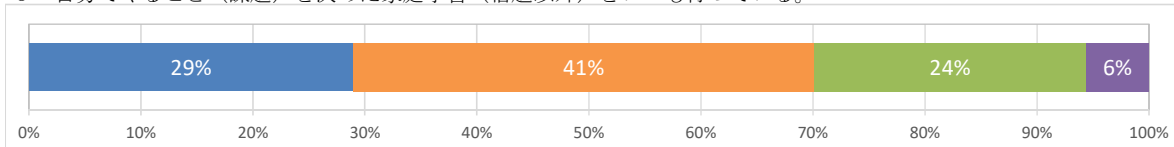
4 学習のとき、相手に伝わるように自分の考えをまとめ、発言や発表（ノートやプリントへの書き込み）を行っている。



5 各教科で、学習の振り返りをする習慣が身に付いてきている。

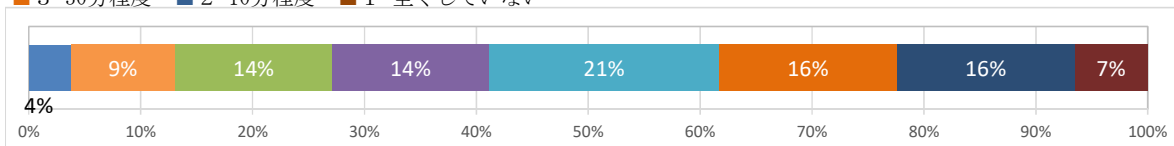


6 自分でやること（課題）を決めた家庭学習（宿題以外）をいつも行っている。

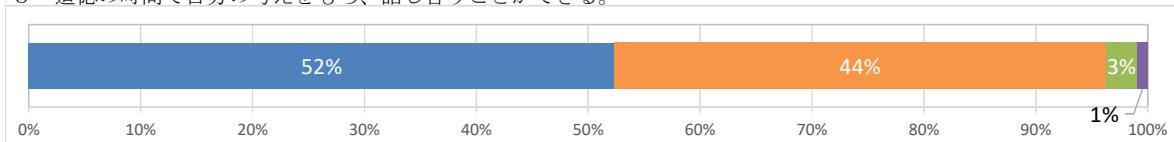


7 平日、1日あたりの家庭学習時間は平均どれくらいですか。

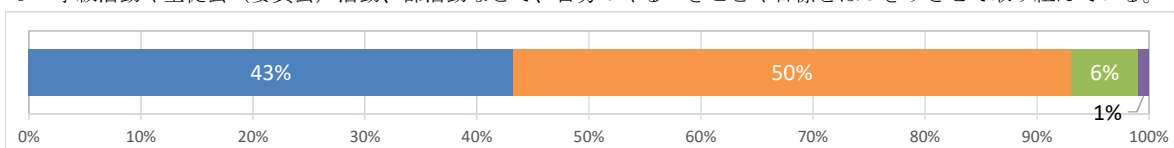
■ 8 3時間以上 ■ 7 2時間半程度 ■ 6 2時間程度 ■ 5 1時間半程度 ■ 4 1時間程度
■ 3 30分程度 ■ 2 10分程度 ■ 1 全くしていない



8 道徳の時間で自分の考えをもち、話し合うことができる。



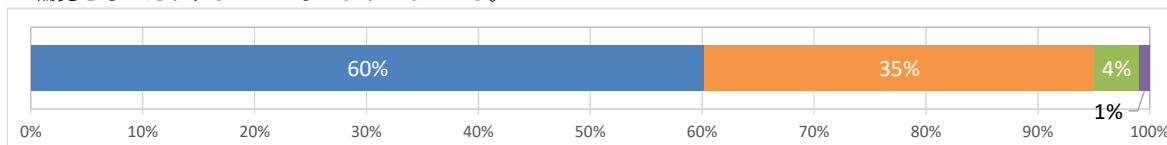
9 学級活動や生徒会（委員会）活動、部活動などで、自分のやるべきことや目標をはっきりさせて取り組んでいる。



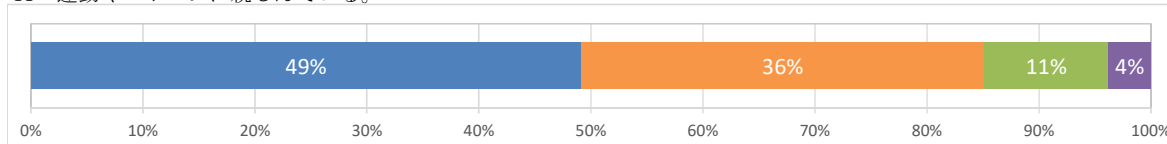
令和6年度 第2回学校評価アンケート【生徒】

■ 4 そう思う ■ 3 どちらかといえばそう思う ■ 2 どちらかといえばそう思わない ■ 1 そう思わない ※（設問7を除く）

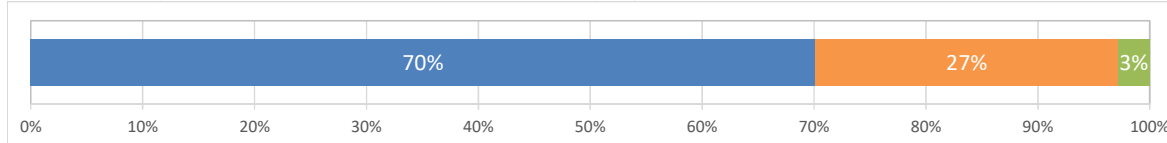
10 学校の中で様々な人々と関わりながら、それぞれの生活環境や考え方の違いなどを理解して、いじめや差別をしたり偏見をもったりすることがないようにしている。



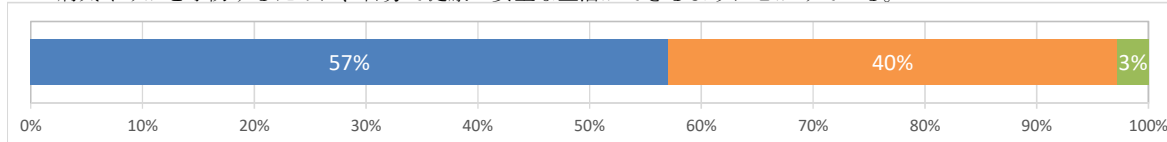
11 運動やスポーツに親しんでいる。



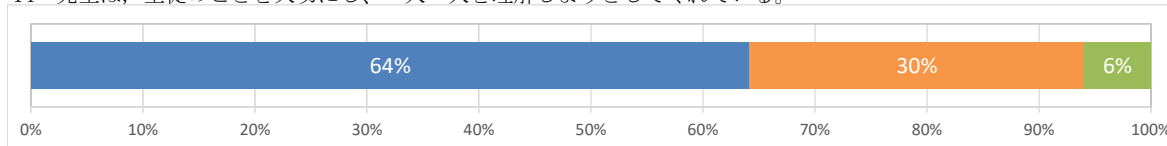
12 事件や事故を起こしたり巻き込まれたりしないように、自分で危険を予測して安全な行動をするように心がけている。



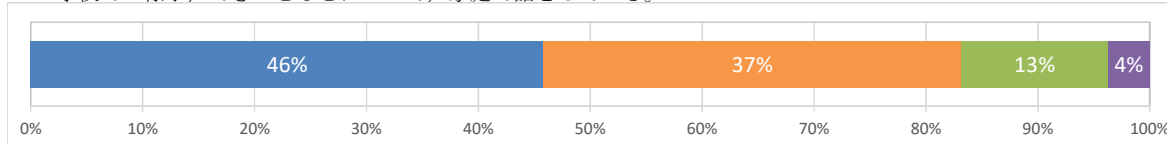
13 病気やけがを予防するために、自分で健康・安全な生活ができるように心がけている。



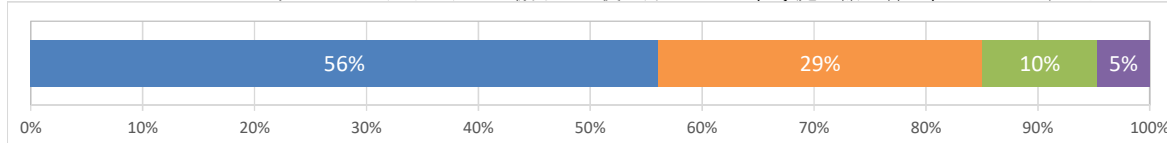
14 先生は、生徒のことを大切に、一人一人を理解しようとしてくれている。



15 学校での様子、できごとなどについて、家庭で話をしている。



16 PC・スマホ・タブレット・オンラインゲーム機などの使い方について、家庭で話し合い、ルールづくりをしている。



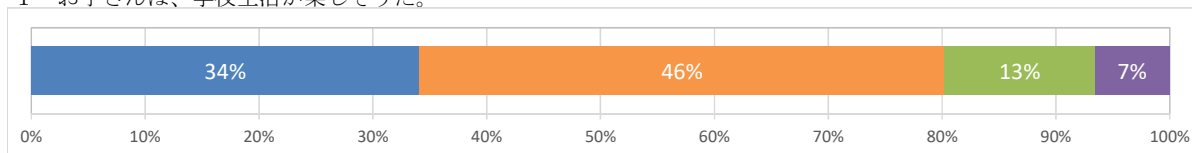
令和6年度 第2回 学校評価（生徒用）自由記述に対する回答

意見	回答
<p>やっぱ掃除の時間でふざける人がいるのでそれをなくしたい</p>	<p>清掃の時間の大切さを理解し、みんなで協力してできるようにしたいと思っていますのですね。 清掃には、 ・健康を守る：ほこりやゴミを取り除き、アレルギーや病気の原因を減らす。 ・快適な環境をつくる：気持ちよく活動でき学習がはかどるようにする。 ・安全を確保する：つまずいたり滑ったりする危険を減らす。 ・建物や備品をを長持ちさせる 劣化を防ぎ、異常に気付きやすくする： など多くの目的があります。清掃は自分たちの心身の健康・安全を守るために必要で、そして家庭や職場など、いつでもどこでも将来にわたって行うことです。 みんなで清掃の大切さについて話題にして呼びかけをしてみたいかでしょうか。 貴重な意見をありがとうございます。</p>
<p>給食を美味しくする</p>	<p>給食の味に物足りなさを感じているのですね。 学校の給食は将来的な生活習慣病を予防するため、以前より塩分量を控えめにしています。学校外での食事と比べると味を薄く感じる場合が多いため、「おいしくない」と感じてしまうかもしれません。 給食センターでも、少ない塩分量でもおいしく食べられるよう、味付けにメリハリをつけたり、汁物などでだしをきかせたりするなど工夫献立を考えているようです。 生徒のみなさんも、普段の食生活でも塩分のとり過ぎに注意してみたいかでしょうか。 貴重な意見をありがとうございます。</p>
<p>靴下ぐらい自由でいいんじゃない</p>	<p>校則の規制について問題意識をもっているのですね。 現在、全国的に校則について見直しを図ろうとする動きが広がっています。 校則で服装や髪型を規制するのは人権侵害であり、多様性を否定することにつながるという意見もあります。一方、自身の健康を害したり、周囲の人々に不快感をあたえたりすることもあるため、ある程度の規制は必要とする意見もあり、多種多様です。</p>
<p>髪型自由(程よい自由)</p>	<p>様々な情報を集め、「自分はどうか」「自分はどうか」という意見をもつところからはじめ、必要であれば生徒会を通して具体的な提案をしてみてください。 皆さんの意見で校則を変える動きをつくることができます。変えることで起こりえる様々な状況を想定した上で、校則について真剣に考えていくことは、これからのみなさんの生活にとってとても大事な経験になります。 貴重な意見をありがとうございます。</p>

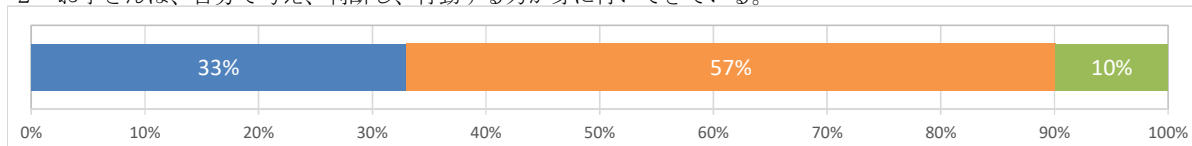
令和6年度 第2回学校評価アンケート【保護者】

■ 4 そう思う ■ 3 どちらかといえばそう思う ■ 2 どちらかといえばそう思わない ■ 1 そう思わない
※（設問7を除く）

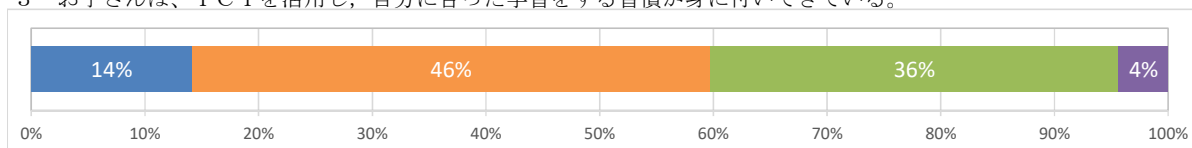
1 お子さんは、学校生活が楽しそうだ。



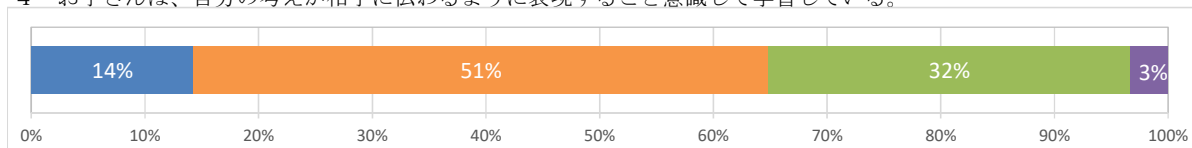
2 お子さんは、自分で考え、判断し、行動する力が身に付いてきている。



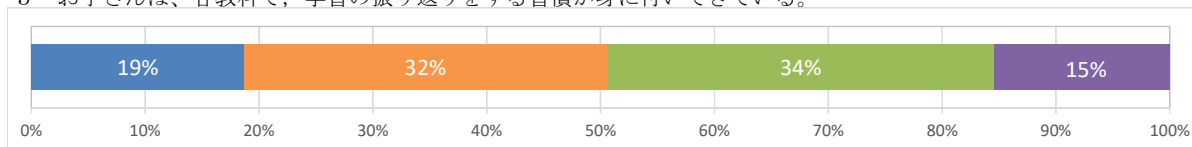
3 お子さんは、ICTを活用し、自分に合った学習をする習慣が身に付いてきている。



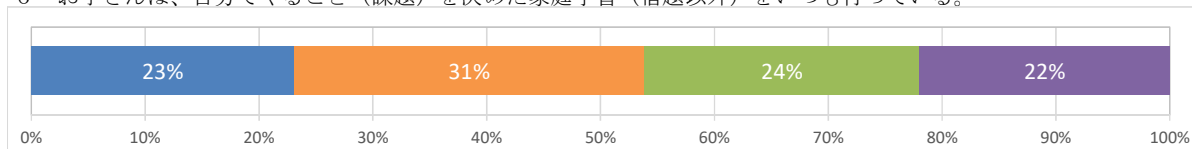
4 お子さんは、自分の考えが相手に伝わるように表現すること意識して学習している。



5 お子さんは、各教科で、学習の振り返りをする習慣が身に付いてきている。

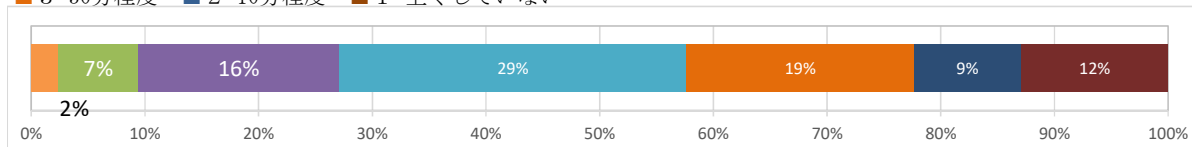


6 お子さんは、自分でやること（課題）を決めた家庭学習（宿題以外）をいつも行っている。

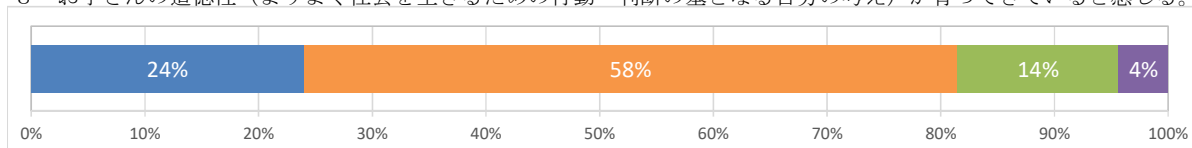


7 お子さんの、平日1日あたりの家庭学習時間は平均どれくらいですか。

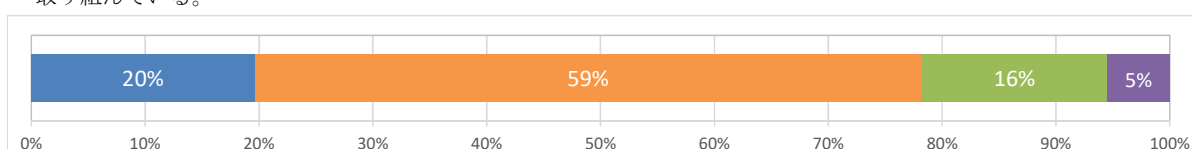
■ 8 3時間以上 ■ 7 2時間半程度 ■ 6 2時間程度 ■ 5 1時間半程度 ■ 4 1時間程度
■ 3 30分程度 ■ 2 10分程度 ■ 1 全くしていない



8 お子さんの道徳性（よりよく社会を生きるための行動・判断の基となる自分の考え）が育ってきていると感じる。



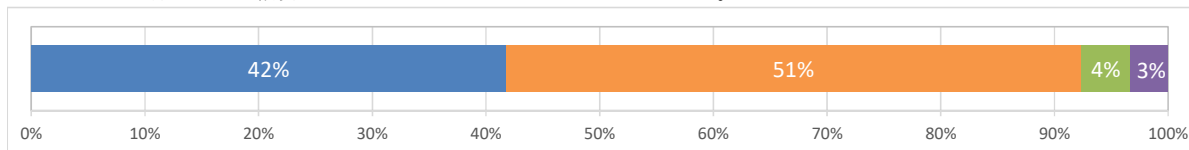
9 お子さんは、学級活動や生徒会（委員会）活動、部活動などで、自分のやるべきことや目標をはっきりさせて取り組んでいる。



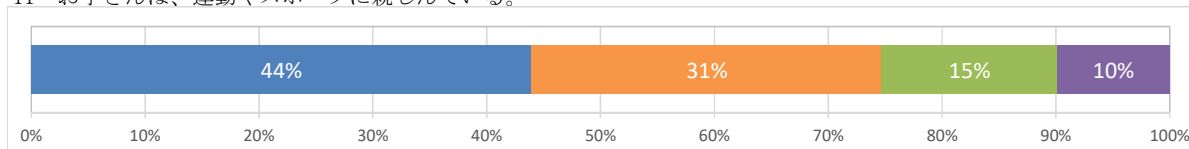
令和6年度 第2回学校評価アンケート【保護者】

■ 4 そう思う ■ 3 どちらかといえばそう思う ■ 2 どちらかといえばそう思わない ■ 1 そう思わない
※（設問7を除く）

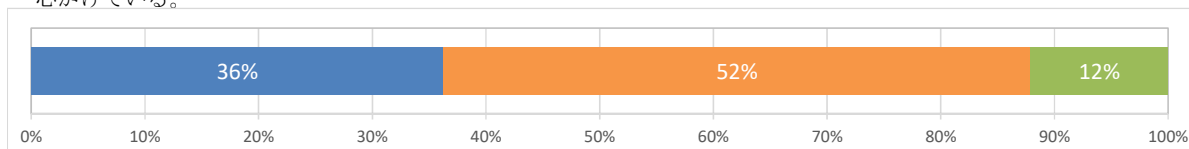
10 お子さんは、学校の中で様々な人々と関わりながら、それぞれの生活環境や考え方の違いなどを理解して、いじめや差別をしたり偏見をもったりすることがないようにしている。



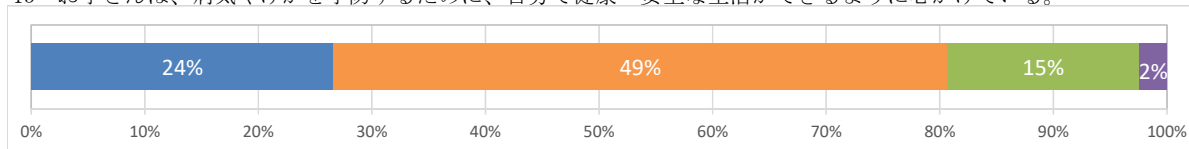
11 お子さんは、運動やスポーツに親しんでいる。



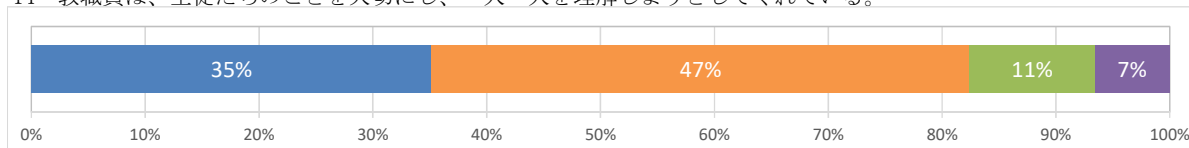
12 お子さんは、事件や事故を起こしたり巻き込まれたりしないように、自分で危険を予測して安全な行動をするよう心がけている。



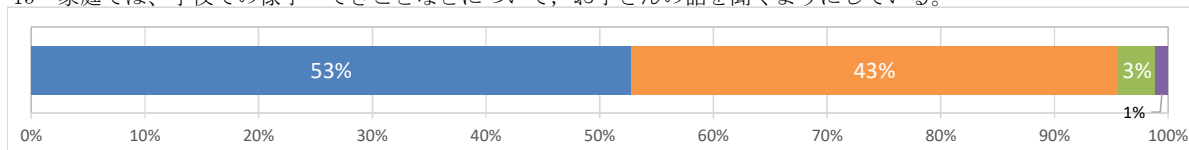
13 お子さんは、病気やけがを予防するために、自分で健康・安全な生活ができるよう心がけている。



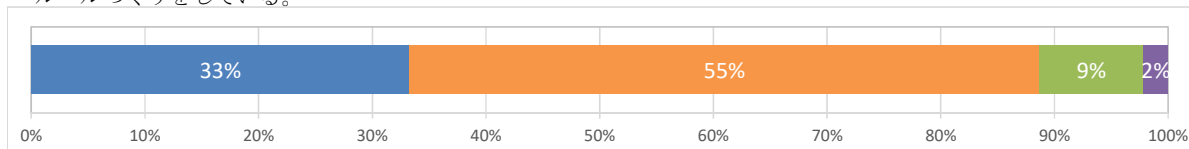
14 教職員は、生徒たちのことを大切に、一人一人を理解しようとしてくれている。



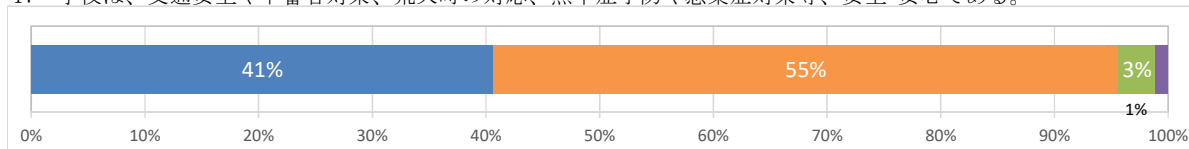
15 家庭では、学校での様子・できごとなどについて、お子さんの話を聞くようにしている。



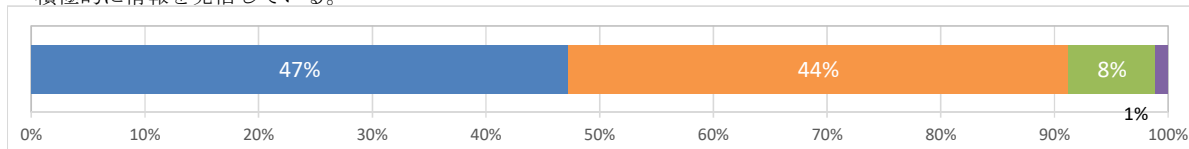
16 家庭では、PC・スマホ・タブレット・オンラインゲーム機などの使い方について、お子さんと話し合い、ルールづくりをしている。



17 学校は、交通安全や不審者対策、荒天時の対応、熱中症予防や感染症対策等、安全・安心である。



18 学校は、行事や子供たちの様子について、ホームページや保護者メール、学校だより、学年・学級通信等で積極的に情報を発信している。



令和6年度 第2回 学校評価（保護者用）自由記述に対する回答

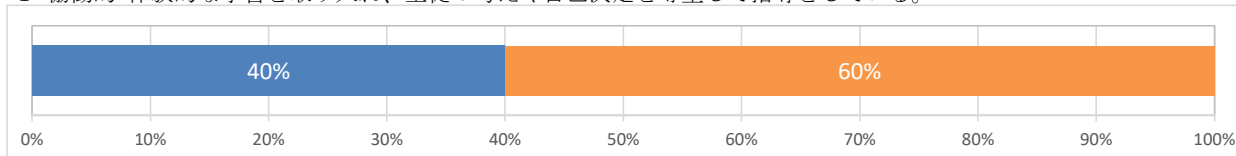
※ 一部文章の表記を変更させていただいている部分があります。ご了承ください。

ご意見	回答
<p>学校行事等のお知らせが、同じ潮来市内でも少しゆっくりな気がします。他中の方から先に情報をもらえる事が多々あります。行事に行きたくても仕事の都合がつけれる職場ばかりではなく、働き方改革が充実している会社もまだまだ少ないかと思えます。面談等も小中学校で同じ週間にしてくれたら職場への迷惑も数回の所、一回に減るのでフルタイムで働く父母には大変助かると思えます。</p>	<p>お忙しい中、各種学校行事や面談への出席にご都合を付けていただき、誠にありがとうございます。入学・卒業式、授業参観、体育祭・文化祭等の学校行事につきましては、年間行事予定表を学校HPに掲載しておりますので目安としてご利用ください。また、面談日やその他の学校行事のお知らせにつきましては、内容を見直しメール連絡システム等を活用してできるだけ早くご連絡できるよう努めてまいります。</p> <p>面談日の小・中共通の設定につきましては、校種に応じた面談時期の設定や学校行事の実施時期、学級担任の出張の都合等で、現状では同日の実施は難しいところがあります。今後、保護者の皆様の負担が少しでも減らせるよう、小学校とも情報を共有し、検討していきたいと思えます。</p> <p>貴重なご意見誠にありがとうございます。</p>
<p>校則を守っていない生徒に対して、きちんと指導していただきたいです。言っても聴く耳を持たないのかもしれないですが、きちんと守っている生徒にとっては、差別されているように感じるようです。</p>	<p>校則は、生徒が健全な学校生活を送り、よりよく成長・発達していくための、学習上、生活上の規律として学校が制定するものです。</p> <p>校則が守れていない生徒につきましては、まず本人への指導を行い、改善が見られない場合は保護者に連絡し協力を求めるようにしております。</p> <p>しかし、生徒本人だけでなく、保護者の方にも多様なお考えがあり、ご理解いただけないケースもあります。その場合、このまま校則を守らないことで、本人が不利益を被ることも考えられ、本人及び保護者が責任を負う場合もあるということもお伝えしています。</p> <p>貴重なご意見誠にありがとうございます。</p>
<p>校則を守らず、服装や髪型について自由に行っている生徒が何人かいることについて、どう指導していますか？個性を大切にすることが重要視されている時代ですが、規則を守ることは社会生活を営む上で基本的なことだと思います。地域の目もあるので、学校全体の評価が下がらないよう配慮していただきたいです。</p>	<p>校則は、生徒が健全な学校生活を送り、よりよく成長・発達していくための、学習上、生活上の規律として学校が制定するものです。</p> <p>校則が守れていない生徒につきましては、まず本人への指導を行い、改善が見られない場合は保護者に連絡し協力を求めるようにしております。</p> <p>しかし、生徒本人だけでなく、保護者の方にも多様なお考えがあり、ご理解いただけないケースもあります。その場合、このまま校則を守らないことで、本人が不利益を被ることも考えられ、本人及び保護者が責任を負う場合もあるということもお伝えしています。</p> <p>貴重なご意見誠にありがとうございます。</p>
<p>日の出中は子供達のために考えて、行動して下さっているとします。ありがとうございます。</p>	<p>温かいお言葉をありがとうございます。これを励みに、職員一同、今後も生徒の心身の成長のために全力でサポートしていきたいと思えます。今後ともよろしく願います。</p>
<p>自主学習を習慣化させて欲しい。やってもやらなくてもどちらでもいいとやらぬ。</p>	<p>自主学習を習慣化させるためには、まず「何のためにやるのか。」「何ができるようにしたいのか。」という明確な目的・目標をもつことです。その上で、以下のようなアイデアを取り入れるようアドバイスしてみたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな目標の設定 「毎日10分間英単語を覚える」など、具体的で達成可能な目標から始めるようにする。 ・小さな褒美の設定 「好きなおやつを食べる」「ゲームを30分だけ楽しむ」など、学習後のの楽しみを設定することで、学習への抵抗感を減らすことも期待できる。
<p>まだ自主学習のやり方がよくわかっていないようです。好きな教科しかやらないので、苦手な教科はずっと苦手。声かけは毎日していますが反抗期なのでいろいろと難しいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーティン化 「夕食後の19時から21時まで勉強する」など毎日同じ時間に学習することで、体と頭が自然と同じ時間に学習モードに入るようにする。 ・進捗の記録 学習した内容や時間を記録することで、自身の成長を可視化できるようにする。 (ノートや表計算ソフトを使い、毎日の学習内容や時間を記録する。) <p>貴重なご意見誠にありがとうございます。</p>
<p>スマホ依存していて困っている、学校のiPadも同様で学力低下が心配なのでスマホ依存の悪影響についての授業などとして欲しい。</p>	<p>学校では、教育活動の中で折に触れて学習用タブレット端末の使用上のルール、家庭でのスマホ等の情報機器の使い方について繰り返し指導しているところです。なお、例年学年末授業参観(PTAの日)におきまして、全校生徒・保護者を対象にしたスマホ・ネット安全教室を実施しております。</p> <p>以下、生徒のスマホ・ネット依存対策について例を挙げますので、参考にいただければ幸いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールの設定 スマホやインターネットの使用時間を確認する (1日に使う時間の制限や夜間の利用制限等) ・フィルタリングやペアレンタルコントロールの利用 不適切なコンテンツへのアクセスを制限する。 ・スマホ以外に意識を向ける スポーツや読書、アートなど、スマホ以外に楽しめる趣味を見つける。 ・対人コミュニケーションの増加 家族や友達と会話をしたり、一緒に過ごしたりするなどのリアルなコミュニケーション時間を増やし、スマホに頼らない時間をつくる。 ・専門家に相談 依存が深刻な場合は、カウンセラーや医師などの専門家に相談することも検討する。 <p>貴重なご意見誠にありがとうございます。</p>
<p>ホームページにもっと学校の様子を載せてほしい。</p>	<p>日の出中学校ホームページは本年度より潮来市内小・中学校統一のフォーマットでリニューアルしました。情報は少しずつ充実させていきます。授業日は毎日更新を心がけております。個人情報の保護のため、生徒の写真等物足りない部分もあるかと思えますが、学校の日々の様子をお伝えしていきますので、今後ともよろしく願います。</p> <p>貴重なご意見誠にありがとうございます。</p>
<p>学校行事の運動会や文化祭の合唱はとても感動しました。先生方はとても大変だったと思えます、感謝しています。</p>	<p>生徒の学校行事にかかる思いが保護者様に伝わったようで、大変うれしく思えます。ありがとうございます。</p> <p>生徒は自分たちでそれぞれの行事について目標を立て、話し合いや練習を通して団や学級など仲間との団結を深めていきました。</p> <p>そのような積み重ねの過程を目にしている私たち教職員としては、生徒たちの姿は頼もしくもあり、誇らしくも思えます。</p> <p>これからも、日の出中学校のよき伝統として続けていけるよう、サポートしていきたいと思えます。</p> <p>貴重なご意見誠にありがとうございます。</p>

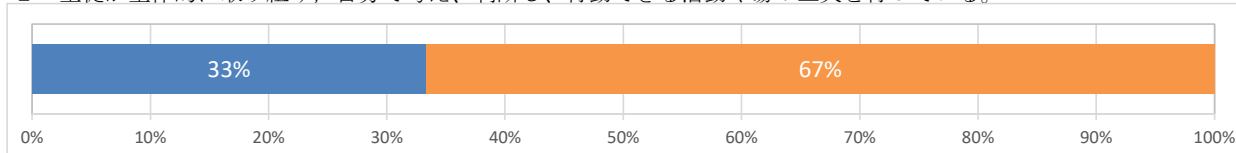
令和6年度 第2回学校をよりよくするためのアンケート【職員】

■ 4 そう思う ■ 3 どちらかといえばそう思う ■ 2 どちらかといえばそう思わない ■ 1 そう思わない

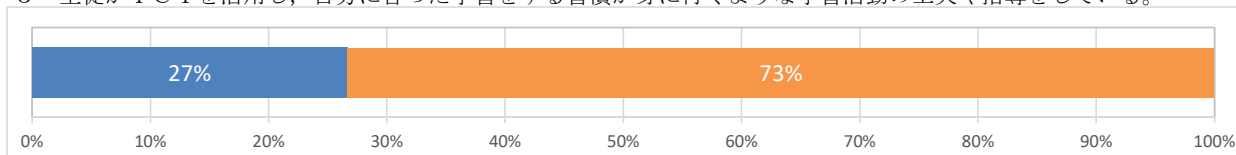
1 協働的・体験的な学習を取り入れ、生徒の考えや自己決定を尊重して指導をしている。



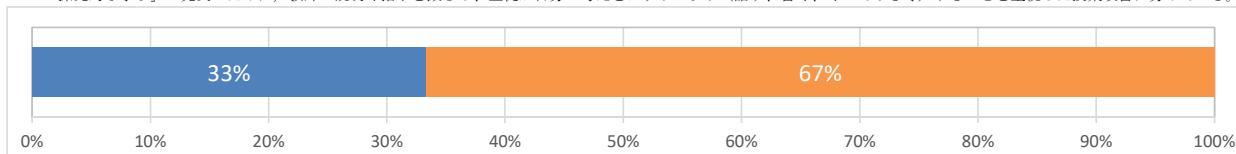
2 生徒が主体的に取り組み、自分で考え、判断し、行動できる活動や場の工夫を行っている。



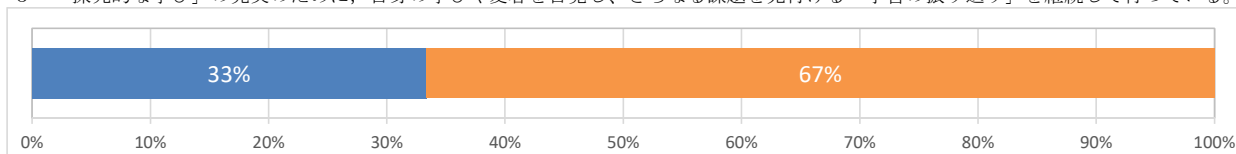
3 生徒がICTを活用し、自分に合った学習をする習慣が身に付くような学習活動の工夫や指導をしている。



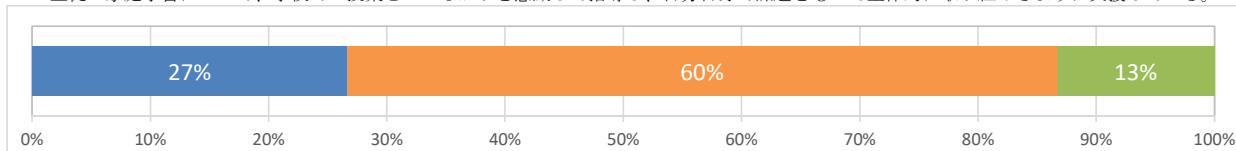
4 「探究的な学び」の充実のために、教師の説明や指示を減らし、生徒が自分の考えをアウトプット（話す、書く、やってみる等）することを重視した授業改善に努めている。



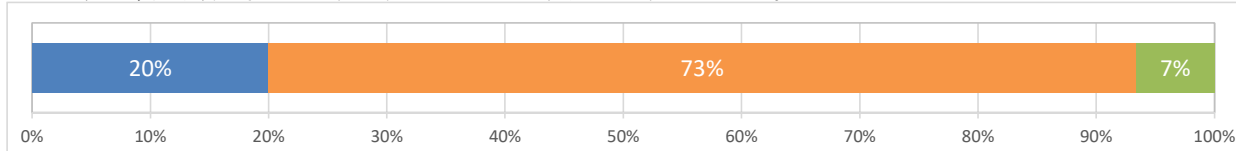
5 「探究的な学び」の充実のために、自身の学びや変容を自覚し、さらなる課題を見付ける「学習の振り返り」を継続して行っている。



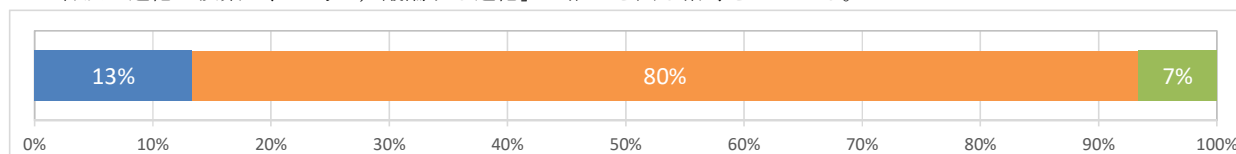
6 生徒の家庭学習について、学校での授業とのつながりを意識して指導し、自分自身で課題をもって主体的に取り組めるように支援している。



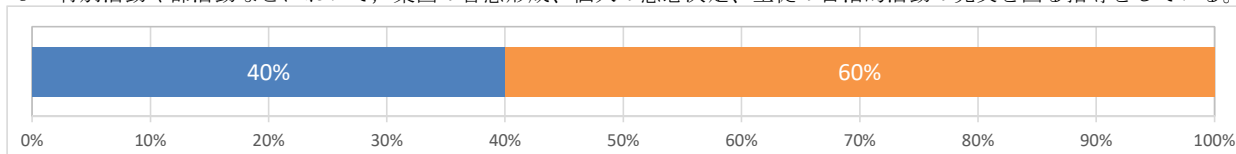
7 生徒の家庭学習の状況を把握し、必要に応じて助言・指導をしている。



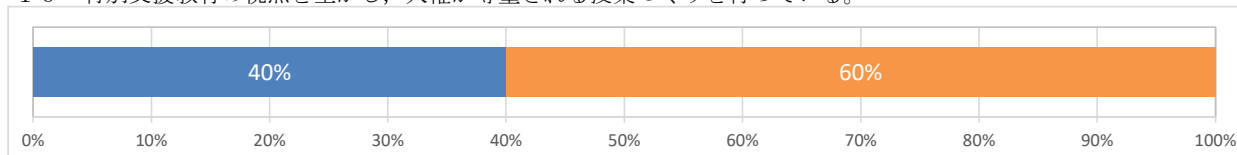
8 普段の道徳の授業で、「考え、議論する道徳」の推進を図る指導をしている。



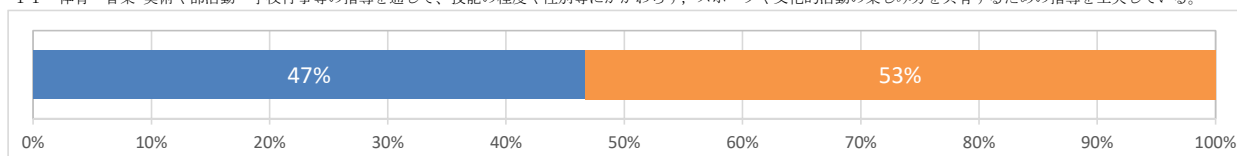
9 特別活動や部活動などにおいて、集団の合意形成、個人の意思決定、生徒の自治的活動の充実を図る指導をしている。



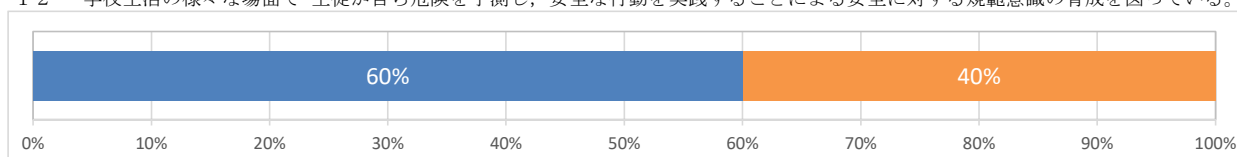
1 0 特別支援教育の視点を生かし、人権が尊重される授業づくりを行っている。



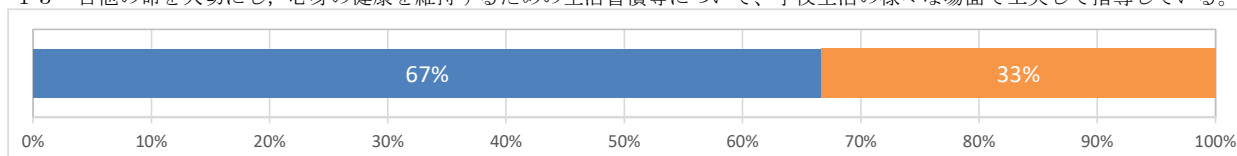
1 1 体育・音楽・美術や部活動・学校行事等の指導を通して、技能の程度や性別等にかかわらず、スポーツや文化的活動の楽しみ方を共有するための指導を工夫している。



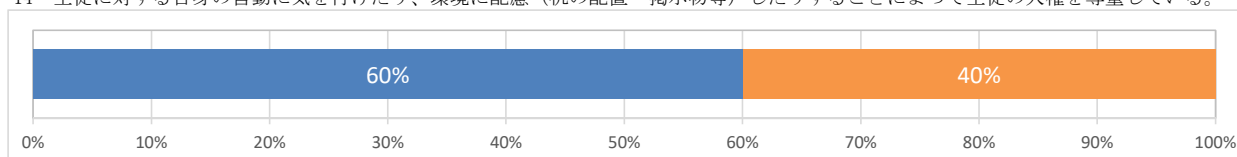
1 2 学校生活の様々な場面で生徒が自ら危険を予測し、安全な行動を実践することによる安全に対する規範意識の育成を図っている。



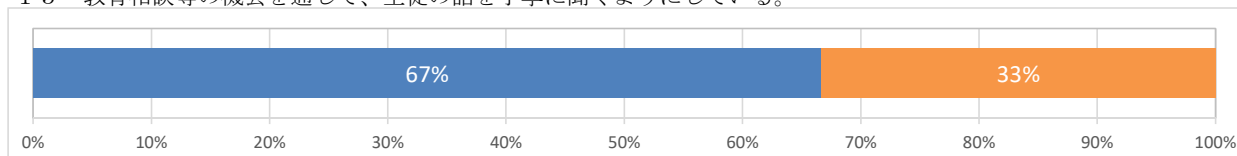
1 3 自他の命を大切にし、心身の健康を維持するための生活習慣等について、学校生活の様々な場面で工夫して指導している。



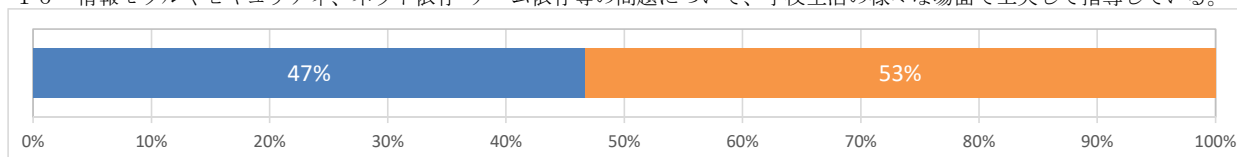
14 生徒に対する自身の言動に気を付けたり、環境に配慮（机の配置・掲示物等）したりすることによって生徒の人権を尊重している。



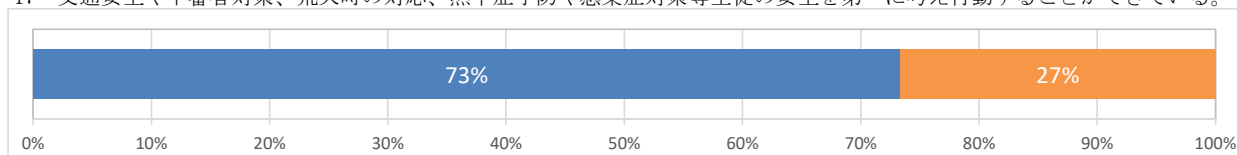
1 5 教育相談等の機会を通して、生徒の話を丁寧に聞くようにしている。



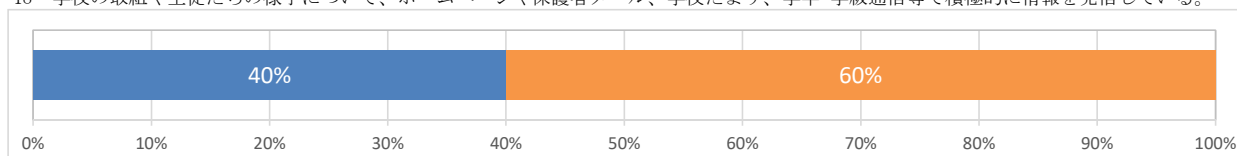
1 6 情報モラルやセキュリティ、ネット依存・ゲーム依存等の問題について、学校生活の様々な場面で工夫して指導している。



17 交通安全や不審者対策、荒天時の対応、熱中症予防や感染症対策等生徒の安全を第一に考え行動することができている。



18 学校の取組や生徒たちの様子について、ホームページや保護者メール、学校だより、学年・学級通信等で積極的に情報を発信している。



令和6年度 第2回 学校評価（教師用）自由記述について

意見	対応について
<p>部活動の二人顧問制度をとっているが、部活の掛け持ちをしている先生もいて機能していないように思う。</p>	<p>県の部活動運営方針では、複数顧問制はそれぞれ正顧問・副顧問が単独で交代して指導に当たり、土・日を含め指導時数を分散することが望ましいとされています。 本校では、各教員の状況に応じて、正顧問が主に指導に当たり、正顧問が不在の場合に副顧問が代わって指導する体制となっています。 今後、部活動の地域移行の動向を踏まえながら、可能な範囲で指導時数の分散化（例えば平日の部活動指導を曜日ごとに正顧問・副顧問でローテーションしたり、休日の合同部活動は副顧問が参加したりするなど）を進めていきたいと思えます。</p>
<p>習熟度別学習や、少人数指導を今後も継続していきたい。</p>	<p>特に学年単学級の場合、在籍する生徒数も多いため、習熟度別学習やT、Tなどの少人数指導が大変有効であると思えます。次年度も、教育課程編制を工夫して取組を充実していきたいと思えます。</p>
<p>学校行事、PTA活動等の精選を行い、教育的な効果と負担が見合わないものについては、見直しを行う。</p>	<p>教員の働き方改革の視点から、各行事の意義を問い直し、精選していくことは重要です。一方、体験活動や多様な人々との関わり（地域の方々、専門家等）については、様々な教育効果が期待されています。負担感を増すことなく、豊かな教育活動ができるように工夫していく必要があると思えます。 また、PTA活動については教職員のみならず保護者の負担感にも配慮し形骸化している活動等を見直しにいけるように提案していきたいと思えます。</p>
<p>結論から言うと、子どもたちの生活習慣を見直すために、外部の力を借りないといけないと思っている。または、iPadの使い方に関しての校則を新たに加えたい。画面やアプリを制御することは必要であると思う。 学習面においては、ゲームやスマートフォン依存による悪影響がかなり大きいというデータもかなり出ているので、家庭との連携を強化していきたい。、生活習慣を見直すこと生活面でも、人とのかかわりがスマートフォンによって減ったことで、様々なトラブルが起きている。</p>	<p>学習用タブレット端末（iPad）の使い方に関して、課題が多くあることは事実です。ただし、ICT技術は常に進化し、めまぐるしい変化を見せていく中、タブレット端末の使い方について校則を定めて一律の制限を課すことは得策とはいえません。 学校では、タブレット端末は学習目的に使うことを大前提に、個人所有の情報機器の使い方と合わせ、ネット依存の危険性や悪影響について粘り強く指導をしていくことが大切であると思えます。もちろん、他者の人権を侵害するような行為については、厳しく対応していく必要があります。 また、家庭での情報機器の扱い方については、保護者の責任のもと家庭でのルールを確認して話し合うことについて啓発を続けていく必要があると思えます。 家庭や学校でフィルタリングや時間制限等、一定の規制を設けて生徒を守ること、生徒が自分でスマホ・ネットの危険性から自分を守る方法について年齢を追って身に付けていくこと、現状ではこの両面のバランスを図りながら対応することが大切なのではないでしょうか。</p>